



高木 広和 議員

問 経済活動と豊かな暮らしに必要な人材確保について問う。

答 商工観光部長

市では市内関係機関と連携し、「高島地域雇用創造協議会」を構成し、令和5年度までの9年間で700人を超える雇用を創出してきました。今年度は、市内でも付加価値額や従業員の多い製造業や建設業といった「ものづくり産業」や、今後更なる需要の増加が期待される「観光業」を重点分野に設定し、雇用創出の取り組みを進めています。

人が集まり豊かな暮らしを育むための環境づくりについて

す。

また、9月には市内事業所の魅力を伝える「企業ガイドブック」の作成に取り組み、市内高校生等の若年層向けに配布を行い、10月には市内企業の人材確保への取組強化を目的として滋賀労働局との「雇用対策協定」を締結するなど、人材確保に取り組んでいます。

問 働きながら安心して子育てできる環境づくりには、子どもの通学時の安全確保が必要だ。通学距離が長距離になる

問 湖西線の強風対策について

答 抜本的な対策を講じるように申し入れをしたところであります

場合はスクールバスを運行してはどうか。

答 教育指導部長

小学生にあつては、通学距離が概ね2km以上の場合であっても、徒歩による集団登校が長年にわたって受け継がれてきている区域もございますが、児童生徒の安全確保を最優先に考え、地域の実情や保護者からの要望、学校からの聞き取り等も踏まえながら、小学生の通学方法について、引き続き、検討してまいりたいと考えております。

問 湖西線の強風対策の促進について問う。

答 都市整備部長

県と沿線3市で構成する「湖西線利便性向上プロジェクト推進協議会」が11月11日に実施いたしましたJR西日本に対する要望活動では、特に、強風対策として、「防風柵や折り返し設備の更なる整備による運行改善に向けた調査・検討」を要望事項としてあげ、市長からも強風対策について抜本的な対策を講じるよう申し入れをしたところであります。

